

**2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）**

 2022年1月11日  
 上場取引所 東

上場会社名 株式会社リソ-教育  
 コード番号 4714 URL <https://www.riso-kyoikugroup.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 滋紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長(CFO) (氏名) 久米 正明 TEL 03-5996-3701  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

**1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年11月30日）**

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	22,064	23.4	2,074	—	2,079	514.0	1,314	—
2021年2月期第3四半期	17,886	△7.8	149	△91.0	338	△79.8	40	△96.2

（注）包括利益 2022年2月期第3四半期 1,342百万円（－％） 2021年2月期第3四半期 29百万円（△97.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	8.87	8.86
2021年2月期第3四半期	0.28	0.28

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	18,302	9,406	50.9	60.42
2021年2月期	13,940	6,575	46.7	44.02

（参考）自己資本 2022年2月期第3四半期 9,323百万円 2021年2月期 6,506百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	0.00	0.00	0.00	9.50	9.50
2022年2月期	0.00	0.00	0.00		
2022年2月期（予想）				14.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

**3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）**

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	19.0	3,010	197.8	3,000	151.6	2,100	278.2	14.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の処分による影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	156,209,829株	2021年2月期	156,209,829株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	1,896,760株	2021年2月期	8,396,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	148,144,363株	2021年2月期3Q	145,920,542株

(参考) 個別業績の概要

2022年2月期第3四半期の個別業績（2021年3月1日～2021年11月30日）

(1) 個別経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	11,289	19.5	575	—	1,015	—	733	—
2021年2月期第3四半期	9,449	1.0	△351	—	42	△92.2	42	△89.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	4.95	4.94
2021年2月期第3四半期	0.29	0.29

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	13,827	7,721	55.2	49.50
2021年2月期	10,056	5,506	54.1	36.79

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 7,637 百万円 2021年2月期 5,437 百万円

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項については（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及に伴う感染者の減少や各種政策の効果等により、緩やかな回復傾向にありましたが、新たな変異株が確認されるなど依然として予断を許さない状況であり、今後の経済情勢は先行き不透明な状態が続くものと考えております。

学習塾業界におきましても、こうした経済状況や少子化、教育制度改革や大学入試改革、GIGAスクール構想による学校へのICT導入の前倒しなども相まって、取り巻く環境が大きく変わろうとしております。

このような外部環境に対して、少子化を前提としたビジネスモデルの当社グループは、「すべては子どもたちの未来のために」という考え方から、高品質な「本物」の教育サービスを提供し、徹底した差別化戦略によって日本を代表するオンリーワン企業を目指すことを経営の基本方針としております。

新型コロナウイルス感染症の影響に対しても、子どもたちの教育の場を守るために、当社グループは、社会的責任を果たすべく、同業他社には例のない徹底した感染防止策を講じることで、子どもたちが安心して通塾し、対面で個別指導を受けることができる環境作りに注力してまいりました。さらには、職域でのワクチン接種を開始する政府発表方針を受け、ワクチン接種の加速化と集団免疫の獲得による早期の経済再生に向けて、約1万人分のワクチンを確保し、当社グループの従業員およびその家族、講師、生徒の保護者、提携先（学校法人駿河台学園等）を対象として接種希望者へのワクチン接種を実施いたしました。当社グループはこれからも1対1の対面指導を継続するために、感染防止対策に取り組んでまいります。

当社グループのそうした取り組みの成果もあり、当第3四半期連結会計期間末における当社グループ各社の生徒数は前年・前々年同期を上回る水準となっており、学校内個別指導塾「スクールTOMAS」の導入校も増加するなど、既存事業の業績は順調に推移しております。

今後は、ヒューリック株式会社との資本業務提携の強化による積極的な新校展開に加えて、当社、ヒューリック株式会社およびコナミスポーツ株式会社との3社提携による事業拡充や、株式会社伸芽会とコナミスポーツ株式会社との業務提携による「多彩で豊かな人間性をもった文武両道のバランスのとれた子どもを育む」事業の発展、株式会社スクールTOMASとKDDIまとめてオフィス株式会社との提携による学校へのICT導入でのマーケット拡張など、異業種を含めた他社との提携を積極的に行っていくことで、持続的成長と企業価値向上に努めてまいります。

以上の結果、売上高は22,064百万円（前年同期比23.4%増）、営業利益は2,074百万円（前年同期は営業利益149百万円）、経常利益は2,079百万円（前年同期比514.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,314百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益40百万円）となりました。

当社グループの経営成績は、受験後の卒業等により生徒数が変動することから、新学期スタート時期である第1四半期連結会計期間を底とし、講習会授業を実施する第2・第4四半期連結会計期間に大きく膨らむ季節的な変動要因があります。

セグメント別の経営成績は、次のとおりとなります。

#### ①TOMAS（トーマス）[学習塾事業部門]

完全1対1の進学個別指導による高品質な教育サービスを提供し、売上高は11,314百万円（前年同期比19.6%増）、内部売上を含むと11,314百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

#### ②名門会 [家庭教師派遣教育事業部門]

100%プロ社会人講師による教育指導サービスの提供に加え、全国区へ事業展開を図っており、売上高は3,710百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

当第3四半期連結会計期間におきましては、TOMEIKA長崎校（長崎県）を移転リニューアルいたしました。

#### ③伸芽会 [幼児教育事業部門]

名門幼稚園・名門小学校受験業界でトップクラスの合格実績を誇る既存事業「伸芽会」に加え、受験対応型の長時間英才託児事業「伸芽'Sクラブ（しんが〜ずくらぶ）」の2つのブランドの充実を図り、売上高は4,866百万円（前年同期比30.8%増）、内部売上を含むと4,866百万円（前年同期比30.8%増）となりました。

当第3四半期連結会計期間におきましては、伸芽'Sクラブ学童大宮校（埼玉県）を新規開校いたしました。

#### ④スクールTOMAS [学校内個別指導事業部門]

学校内個別指導塾「スクールTOMAS」の営業展開を推し進め、売上高は1,481百万円（前年同期比60.5%増）、内部売上を含むと1,678百万円（前年同期比52.6%増）となりました。

⑤プラスワン教育 [人格情操合宿教育事業部門]

情操分野を育む多彩な体験学習サービスの提供を行い、売上高は680百万円(前年同期比69.1%増)、内部売上を含むと704百万円(前年同期比65.1%増)となりました。

当第3四半期連結会計期間におきましては、TOMAS体操スクール広尾校(東京都)を新規開校いたしました。

⑥その他の事業

売上高は11百万円(前年同期比37.9%増)、内部売上を含むと96百万円(前年同期比55.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、有形固定資産、敷金及び保証金の増加、営業未収入金、未収還付法人税等の減少等により前連結会計年度末と比較して4,362百万円増加し、18,302百万円となりました。

負債は、未払金、未払法人税等、前受金、退職給付に係る負債の増加、賞与引当金、関係会社整理損失引当金の減少等により前連結会計年度末と比較して1,530百万円増加し、8,895百万円となりました。

純資産は、資本剰余金の増加、自己株式、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末と比較して2,831百万円増加し、9,406百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移していることから、現時点において2021年10月7日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,963,694	8,270,475
営業未収入金	2,454,135	1,866,989
たな卸資産	135,497	148,674
未収還付法人税等	37,672	14,430
その他	438,892	481,737
貸倒引当金	△11,588	△12,584
流動資産合計	7,018,304	10,769,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,953,928	3,393,009
減価償却累計額	△1,413,589	△1,485,390
建物及び構築物 (純額)	1,540,339	1,907,618
工具、器具及び備品	1,858,972	2,051,298
減価償却累計額	△701,592	△758,966
工具、器具及び備品 (純額)	1,157,379	1,292,332
土地	417,963	417,963
その他	13,668	13,668
減価償却累計額	△13,668	△13,668
その他 (純額)	0	0
有形固定資産合計	3,115,682	3,617,913
無形固定資産		
その他	177,485	185,953
無形固定資産合計	177,485	185,953
投資その他の資産		
投資有価証券	124,027	112,334
繰延税金資産	678,891	660,994
敷金及び保証金	2,558,477	2,648,915
その他	273,534	313,041
貸倒引当金	△6,072	△6,072
投資その他の資産合計	3,628,859	3,729,213
固定資産合計	6,922,027	7,533,080
資産合計	13,940,332	18,302,804

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	1,149,166	1,331,641
未払法人税等	422,847	554,127
前受金	1,701,720	2,747,619
返品調整引当金	2,370	2,992
賞与引当金	265,202	72,456
関係会社整理損失引当金	40,529	1,702
資産除去債務	12,565	10,310
その他	1,005,995	1,177,815
流動負債合計	4,600,399	5,898,665
固定負債		
リース債務	3,895	2,234
退職給付に係る負債	1,681,000	1,822,611
資産除去債務	1,073,012	1,163,605
繰延税金負債	6,783	8,782
固定負債合計	2,764,692	2,997,234
負債合計	7,365,091	8,895,900
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,890,415	2,890,415
資本剰余金	1,105,307	2,616,453
利益剰余金	4,323,111	4,262,544
自己株式	△1,730,384	△391,654
株主資本合計	6,588,450	9,377,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,300	5,188
為替換算調整勘定	△401	△1,556
退職給付に係る調整累計額	△94,780	△57,596
その他の包括利益累計額合計	△81,881	△53,965
新株予約権	68,671	83,111
非支配株主持分	—	0
純資産合計	6,575,240	9,406,904
負債純資産合計	13,940,332	18,302,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	17,886,882	22,064,531
売上原価	13,935,096	15,903,555
売上総利益	3,951,786	6,160,975
販売費及び一般管理費	3,802,090	4,086,647
営業利益	149,695	2,074,327
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	0	3,915
為替差益	235	1,485
未払配当金除斥益	2,891	3,553
受取補償金	—	7,974
助成金収入	204,817	27,277
償却債権取立益	1,720	1,522
雑収入	510	4,532
その他	13,085	5,941
営業外収益合計	223,270	56,214
営業外費用		
支払利息	2,100	1,895
株式交付費	30,100	43,192
その他	2,028	5,776
営業外費用合計	34,229	50,864
経常利益	338,737	2,079,676
特別利益		
関係会社整理損失引当金戻入額	—	7,850
受取補償金	25,668	41,839
その他	3,769	—
特別利益合計	29,437	49,690
特別損失		
固定資産除却損	9,529	12,863
移転費用等	727	4,646
その他	—	1,107
特別損失合計	10,257	18,616
税金等調整前四半期純利益	357,917	2,110,750
法人税等	356,753	796,441
四半期純利益	1,163	1,314,309
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,298	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,462	1,314,309

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	1,163	1,314,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,811	△8,112
為替換算調整勘定	△118	△1,155
退職給付に係る調整額	24,914	37,183
その他の包括利益合計	28,608	27,915
四半期包括利益	29,771	1,342,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,771	1,342,224
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年10月27日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議し、自己株式6,500,000株を処分いたしました。この自己株式の処分等により、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が1,511,145千円増加、自己株式が1,338,730千円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が2,616,453千円、自己株式が391,654千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

当第3四半期連結累計期間の業績が順調に推移していることから、今後の当社グループの事業活動に与える新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であると仮定しており、当第3四半期連結累計期間における固定資産の減損および繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りについては、この仮定に基づき行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積りおよび仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	家庭教師 派遣教育事業	幼児教育 事業	学校内個別 指導事業	人格情操合宿 教育事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	9,461,054	3,372,688	3,718,916	923,189	402,400	17,878,248	8,634	17,886,882	—	17,886,882
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	142	—	690	176,429	24,306	201,568	53,223	254,792	△254,792	—
計	9,461,196	3,372,688	3,719,606	1,099,619	426,706	18,079,817	61,857	18,141,674	△254,792	17,886,882
セグメント 利益又は損失 (△)	△446,334	180,822	654,474	△247,133	△136,273	5,555	8,379	13,934	135,760	149,695

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	家庭教師 派遣教育事業	幼児教育 事業	学校内個別 指導事業	人格情操合宿 教育事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	11,314,009	3,710,900	4,866,153	1,481,258	680,303	22,052,626	11,905	22,064,531	—	22,064,531
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	251	—	840	197,218	24,309	222,619	84,145	306,764	△306,764	—
計	11,314,261	3,710,900	4,866,993	1,678,477	704,612	22,275,245	96,050	22,371,295	△306,764	22,064,531
セグメント 利益又は損失 (△)	512,399	188,949	1,230,783	△20,684	△47,685	1,863,762	21,463	1,885,225	189,101	2,074,327

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。